

## 緊急時の一時集合場所・近隣の指定避難所・UPZ圏外の避難先を記入しましょう

一時集合場所 ( ) 近隣の 指定避難所 ( ) UPZ圏外の 避難先 ( )

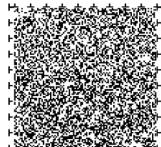
**持ち出し品 チェックリスト** 自然災害への備えと同じですので、日頃から備えておきましょう。



## ○家族等の連絡先

※こすっても消えない油性ペン等でご記入ください。

パンフレットに関するお問い合わせ先は -



佐賀県 危機管理・報道局 危機管理防災課  
TEL:0952-25-7362 FAX:0952-25-7262

✉ kikikanribousai@pref.saga.lg.jp 防災・減災さが 検索



Copyright © 2025 Saga Prefecture. All Rights Reserved

# 知っておこう! 原子力災害時は、屋内にいることが 安全への第一歩

UPZ(原発からおおむね半径  
5~30km)の地域の方へ



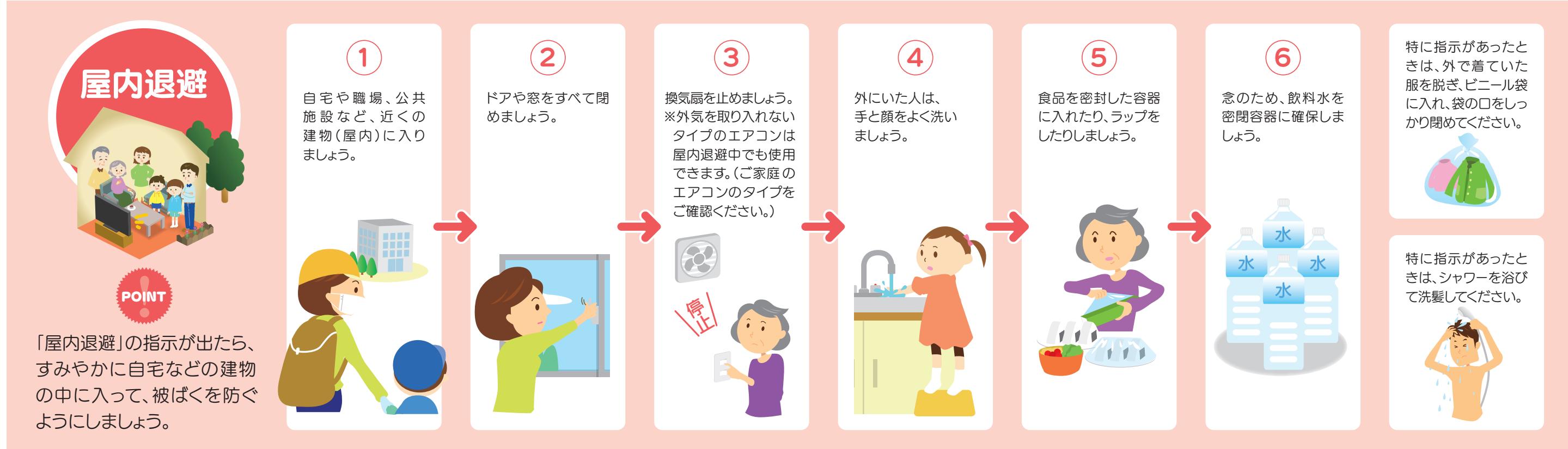
警戒事態発生のお知らせを聞いたら、まずは保育所や学校等にいるお子さまを迎えに行き、自宅などの屋内に退避し、テレビ等で情報収集を行いましょう。



# 原子力災害時は、公共機関からの正しい情報や指示を待って、あせらずに落ち着いて行動しましょう。 家の中に入る「屋内退避」が安全への第一歩です。※

※万が一、原子力発電所から放射性物質の放出があった場合、屋外で行動していると、被ばくの危険が高まるおそれがあるからです。  
※あわてて皆が一斉に遠くへ避難しようとすると混乱や事故などを招き、かえって危険が高まるおそれもあります。

この冊子を見えるところに貼っておきましょう。



## 地震等により自宅が損壊したときは?

地震等に対する避難行動を最優先に取ることが重要です。まずは近隣の指定避難所に避難しましょう。平常時から、お住まいの地域の避難計画や、近隣の指定避難所をホームページ等で確認しておきましょう。この冊子の裏面に記入欄があります。

## コンクリートの建物への屋内退避がより安全です。

吸入による内部被ばくを、四分の一程度に抑えることができます。  
木造家屋  
吸入による内部被ばくを、二十分の一程度に抑えることができます。  
コンクリートの建物  
外部被ばくを、約10%程度減らします。

次のことを行ってください

●テレビやラジオ、緊急速報メールなどから正確な情報を確認。



●緊急を要する用事以外は電話を使用しない。



●広報車や防災行政無線などの情報に注意する。



●不要な外出を控え、指示があるまで自宅などで待機。



●国や県、市町の情報に従い、うわさやデマに惑わされない。



## 避難

### POINT

あわてずに、公共機関の避難指示内容をよく確認し、指定された場所へ避難してください。

※避難するときには、できるだけ直接肌を出さない服装を心がけましょう。

屋内退避後に避難指示が出たら…

